

平成23年度第1回 新潟大学東京事務所講演会および 新潟大学東京イノベーションクラブ定時総会・懇親会のご案内

1. 日時:平成23年5月21日(土)14:00~18:30

2. 場所:CIC 東京

3. 講演会 14:00~16:00

CIC 東京国際会議室

3. 1. 下條学長挨拶

3. 2. 「地震に起因する様々な災害と新研究所の役割」

講師:丸井英明 新潟大学教授(新潟大学災害・復興科学研究所長)

【概要】このたび新潟大学全学の手厚い支援の下に「災害・復興科学研究所」が開所致しました。

当研究所は、積雪地域災害研究センターから災害復興科学センターに至る40年以上に及ぶ災害研究の成果を受け継いでおります。新潟県において近年2度に亘り経験した地震を契機とし、中山間地における災害メカニズムの調査研究と被災地の復興支援に携わってまいりました。研究の成果と学術的知見に基づき、「環境変動」の予測、「複合災害」の解明、「地域安全」の確保を主要テーマとし、広く海外をも研究の場として、「中山間地域における減災科学」を構築し、国内外にその研究成果を積極的に発信し、適用していく共同研究拠点を目指します。奇しくも新研究所の発足が、戦後最大の東日本大地震と相前後致しました。地震に起因する様々な災害の様相と新研究所が担うべき役割について講演させていただきます。

3. 3. 「エネルギー需給見通しとCCSの動向」

講師:石井 正一 石油資源開発(株)常務取締役(新潟大学人文学部経済学科 S48 年卒)
日本 CCS 調査(株) 代表取締役社長(兼任)

* CCS: Carbon dioxide Capture Storage (二酸化炭素の分離・回収、輸送、貯留)

【概要】3月11日の東日本大震災と福島原発事故を契機に、今までの一次エネルギーの需給見通しに激変が生じている。震災後の計画停電に引き続き、夏場の電力需給の大幅な不足は日本における一次エネルギーの需給関係だけでなく、世界のエネルギー市場に重大な影響を及ぼしつつある。

こうした新たなエネルギー情勢の下で、地球規模での二酸化炭素削減も求められおり、この解決策の切り札としての二酸化炭素の分離・回収、地中貯留(CCS)の果たす役割と日本の動向について、弊社の最新の CCS ビデオ(17 分程、経済産業省監修)を含めて解説をします。

3. 4. 鈴木クラブ会長挨拶

※この講演会はどこからでも聴講できます。但し、事前登録制で、定員 80 名であります。

4. 新潟大学東京イノベーションクラブ定時総会 16:10~16:30

CIC 東京国際会議室

クラブ会員の方はご出席ください。

5. 懇親会 17:00~18:30

5. 1. 鈴木会長挨拶

5. 2. 仙石理事・東京事務所長 挨拶

5. 3 乾杯

講師を囲んで懇親を深めて頂きます

5. 4. 中締め

※この懇親会はクラブ会員に限定であり、当日会員に加入頂ければ参加出来ます。

法人会員は入会費および年会費は各1万円、個人会員は入会費および年会費は各1千円

懇親会参加費3,000円です。

新潟大学東京イノベーションクラブ TEL&FAX:03-5440-9081(新大東京事務所内)